

差別の重み

椿町中学校 一年 谷脇 沙奈

たにわき さな  
(敬称略)

私は今回、「外国人への差別」をテーマにして考えました。その理由は、私の母は中国人で、これまでに私が経験したり体験したりしたことについて、何か書けないか、しっかりと考えてみたいと思ったからです。そして、周りから見えた意見ではなく、家族としてどのように感じているのか、どのように思っているのかを作文を通して、いろいろな人に知ってほしいとも思っています。

私は父親が日本人、母親が中国人です。また、私には三歳年下の双子の弟がいます。私たち姉弟はいわゆる「ダブル」です。母が十五年前、今暮らしている椿泊町に来たとき、みんながみんな母を歓迎してくれたわけではなかったと聞きました。中には、母のことを下に見てきたり、中国人だからと決めつけをしてきたりする人がいたそうです。私はそれを母から聞いて、とても驚き、少し苦しい気持ちになったことを覚えています。しかし、私たち家族は追い出されることはなく、今も地域の人達と共に、椿泊町で暮らしています。これまでの道のりには、私たち家族を支えてくれた祖父のいここにあたる方々の存在が大きいと母から聞きました。母がつらいときにはいつも寄り添ってくれたり、助けてくれたりした人達が椿泊町にはいます。今も何かあった時には、すぐに駆け付けてくれたり、見守ってくれたりしています。始めは苦しくて悲しかった気持ちも、そんな母の話の聞いたり、地域の人と関わったりすることで、私は感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私は、母親が中国人だからといって嫌になったことは一度もありません。周りの人がどんな意見をもっていても、私が母のことを嫌いになることはないし、中国のことも大好きな気持ちに変わりません。それがなぜかというと、私は母が中国人であるおかげで、二つの国の言葉を話すことができるとし、二つの国の文化を知ることができるなど得だと感じる部分も多くあるからです。例えば、食卓には、美味しい中華料理や、馴染みのある和食が並びます。普段の生活の中でもそれぞれの国の文化を感じながら生活することができます。それだけでなく、言葉では表すことのできない特別な感覚もあります。もし「お母さんが中国人でかわいそう。」や「お母さんが中国人で生活が不便なんじゃない?」と思っている人がいたら、強く「全

然そんなことはないよ！」と言いたいです。そんな私も、これまでに周りの人から「中国人の子供だから、うちの子とはあまり遊ばないで欲しい」とか「中国人の子供だから、頭が変。」と陰口を言われたり、「この子がやっつんだ、この子が悪い。」と言われたりしたことがあります。その時はとてもつらかったですが、母が中国人で良かったことを思い出し、ポジティブに考えることで嫌なことも乗り越えてきました。家族の事や自分の国籍が違うことに悩んでいる人がいたら、「前向きに考える」「国籍が違ってよかったところを考える」ということを伝えられたらと思っています。

私はこれからの将来、「外国人への差別」がなくなつて欲しいと願っています。差別をなくすことはすごく難しいことだと思いますが、世界中の一人一人がこの問題について考え、行動することで解決できる問題であると思います。この問題の他にも、解決することが難しい問題はたくさん残っていると思います。今回、いろいろな人権問題が世界中にあり、多くの人が悩んでいることを調べてみて分かりました。その理由は、多くの人が解決をしようと思つて行動しても、一部の人が解決をしようとせず好き勝手に行動していると、問題はずつと残り続けるからではないかと思つています。しかし、現在は多くの問題について、「おかしい」「間違っている」と声を上げる人が増えてきました。また、インターネットやSNSを通して、その声も世界中に広がり、悩んでいる人が声を上げやすい世界に変わってきていると思います。今、世界各国で苦しんでいる人に、必ず下を見ずに上を見上げ、差別がなくなることを信じ続けて欲しいと伝えたいです。そして、差別で苦しんでいる人が減り、その差別がなくなる日が来ると信じていきたいです。